マニュアルの使いかた

安心してお使いいただくために

- パソコンをお取り扱いいただくための注意事項
  ご使用前に必ずお読みください。

セットアップガイド（本書）

- パソコンの準備
- Windowsのセットアップ
- 電源の切りかた
- Q&A集（電源が入らないとき）
- リカバリ（再セットアップ）
- 廃棄／譲渡

など

取扱説明書

- 電源の入れかた
- 各部の名前
- 増設メモリの取り付け／取りはずし
- バッテリパックの交換
- システム環境の変更

など

オンラインマニュアル

Windowsが起動しているときにパソコンの画面上で見るマニュアルです。

参照 起動方法「1章 5 画面で見るマニュアル」

- パソコンの基本操作
- ネットワーク機能
- 周辺機器の接続
- バッテリで使う方法
- システム環境の変更
- パソコンの動作がおかしいとき／Q&A集

など

リリース情報

- 本製品を使用するうえでの注意事項など
  必ずお読みください。

参照 「はじめに-リリース情報について」

もくじ

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

⚠警 告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注 意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルやほかのマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 …「　」 ほかのマニュアルへの参照の場合 …『　』 オンラインマニュアルへの参照の場合 …《　》 オンラインマニュアルには、さまざまな情報が記載されています。

＊1　重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
＊3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

用語について

本書では、次のように定義します。

システム
　特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
　アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows または Windows XP
　Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版を示します。

Microsoft IME
　Microsoft® IME スタンダード 2002 を示します。

Office 搭載モデル
　Microsoft® Office Personal 2007 2 年間ライセンス版がプレインストールされているモデルを示します。

記載について

・インターネット接続については、ブロードバンド接続を前提に説明しています。
・アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは内蔵ハードディスクからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
・本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
・本書では、コントロールパネルの操作方法について「カテゴリ表示」を前提に記載しています。「クラシック表示」になっている場合は、「カテゴリ表示」に切り替えてから操作説明を確認してください。

参照 カテゴリ表示とクラシック表示
『ヘルプとサポート センター』

Trademarks

・Microsoft、Windows、Windows Live、SkyDrive、Excel、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
・Intel、インテルは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標、または登録商標です。
・Adobe、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標ならびに登録商標です。

本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ（CPU）の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- ・周辺機器を接続して本製品を使用する場合
- ・AC アダプタを接続せずバッテリ駆動にて本製品を使用する場合
- ・マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
- ・本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
- ・複雑な造形に使用するソフト（例えば、運用に高性能コンピュータが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合
- ・気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
  目安として、標高 1,000 メートル（3,280 フィート）以上をお考えください。
- ・目安として、気温５～30℃（高所の場合 25℃）の範囲を超えるような外気温の状態で本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPU の処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。
また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

このほかの使用制限事項につきましては取扱説明書をお読みください。また、詳細な情報については東芝 PC あんしんサポートにお問い合わせください。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。
必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

①［スタート］→［すべてのプログラム］→［はじめに］→［リリース情報］をクリックする

データのバックアップについて

重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。
バックアップとはハードディスクやソフトウェアの故障などでファイルが使用できなくなったときのために、あらかじめファイルを記録メディアなどにコピーしておくことです。
本製品は次のような場合、スタンバイまたは休止状態が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- ・誤った使いかたをしたとき
- ・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- ・長期間使っていなかったために、バッテリ（バッテリパック、時計用バッテリ）の充電量がなくなったとき
- ・故障、修理、バッテリ交換のとき
- ・バッテリ駆動で使用しているときにバッテリパックを取りはずしたとき

記憶内容の変化／消失については、ハードディスクや記録メディアなどに保存した内容の損害については当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

お願い

- ・本製品の内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- ・Windows 標準のシステムツールまたは本書に記載している手順以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- ・内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- ・購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- ・本製品に内蔵されている画像を、本製品での壁紙以外の用途に使用することを禁じます。
- ・パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、東芝 PC あんしんサポートに連絡してください。有償にてパスワードを解除します。HDD パスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスクドライブは永久に使用できなくなり、交換対応となります。この場合も有償です。またどちらの場合も、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。
- ・本製品はセキュリティ対策のためのパスワード設定や、無線 LAN の暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、弊社は一切の責任を負いません。
- ・ご使用の際は必ず本書をはじめとする取扱説明書と『エンドユーザ使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』をお読みください。
- ・アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書は表示されなくなります。リカバリを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。

・『東芝保証書』は、記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録（ユーザ登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。弊社ホームページで登録できます。

参照 詳細について 《オンラインマニュアル》

1 章

パソコンの準備 −セットアップ−



この章では、Windows のセットアップ、電源の切りかた、ほかのマニュアルなどについて説明しています。



1 使う前に確認する

1 箱を開けたらまずはこれから

■箱の中身の確認■
『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照して、付属品がそろっているか、確認してください。足りない物がある場合や、破損している物がある場合は、東芝 PC あんしんサポートにお問い合わせください。

参照 東芝 PC あんしんサポート 『東芝 PC サポートのご案内』

■型番と製造番号を確認■
パソコン本体の裏面に型番と製造番号が記載されています。保証書に同じ番号が記載されていることを確認してください。番号が違う場合や、不備があった場合は、東芝 PC あんしんサポートにお問い合わせください。

参照 型番または製造番号の記載位置 『取扱説明書』

2 忘れずに行ってください

■使用する前に■
本製品を使用する前に、必ず本書をはじめとする各種説明書と『エンドユーザ使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』を読んでください。

■保証書は大切に保管■
故障やトラブルが起こった場合、保証書があれば保証期間中（保証期間については保証書を確認してください）は東芝の無償（無料）保守サービスが受けられます。
保証書に記載の内容を読んで、確認したあと、大切に保管してください。

■海外保証を受けるには■
海外で使用するときは「海外保証（制限付）」（ILW:International Limited Warranty）により、海外の所定の地域で、保証書に記載の無料修理規定および制限事項・確認事項の範囲内で修理サービスを利用できます。
利用方法、保証の詳細については『東芝 PC サポートのご案内』の記載内容および保証書に記載の無料修理規定を読んで、確認してください。

■ Product Key は大切に保管■
本製品には、パソコン用基本ソフト（OS）としてマイクロソフト社製の Windows が用意されています。この Windows にそれぞれ割り当てられている管理番号を「Product Key」といいます。
Product Key はパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。
このラベルは絶対になくさないようにしてください。再発行はできません。
紛失した場合、マイクロソフト社からの保守サービスが受けられなくなります。

2 最適な場所で使う

1 パソコンに最適な環境とは

人間にとって住みやすい温度と湿度の環境が、パソコンにも最適な環境です。
次の点に注意して置き場所、使う場所を決めてください。

- 安定した場所に置きましょう。
  不安定な場所に置くと、パソコンが落ちたり倒れたりするおそれがあり、故障やけがにつながります。
- 温度や湿度が高いところは避けましょう。
  暖房や加湿器の送風が直接あたる場所はよくありません。
- 強い磁気を発するものの近くで使用しないでください。
  磁石はもちろん、スピーカ、テレビの近くは磁気の影響を受けます。磁気ブレスレットなどもパソコンを使用するときははずすようにしましょう。
- 照明や日光があたる位置も考慮しましょう。
  照明や日光が直接ディスプレイにあたると、反射して画面が見づらくなります。
- ラジオやテレビの近くで使用しないでください。
  ラジオやテレビの受信障害を引き起こすことがあります。
- 無線通信装置から離してください。
  携帯電話も無線通信装置の一種です。
- パソコンの通風孔をふさがないように置きましょう。
  通風孔はパソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。ふさぐと、パソコン本体内部が高温となるため、本来の性能を発揮できない原因や故障の原因となります。

3 Windows セットアップ

初めて電源を入れたときは、Windows のセットアップを行う必要があります。
Windows のセットアップは、パソコンを使えるようにするために必要な操作です。
セットアップには約 10 ～ 30 分かかります。

作業を始める前に、付属の冊子『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。特に電源コードや AC アダプタの取り扱いについて、注意事項を守ってください。

お願い　セットアップをするときの注意

■周辺機器は接続しないでください■

- セットアップは AC アダプタと電源コードのみを接続して行います。
  セットアップが完了するまでは、プリンタ、マウスなどの周辺機器や LAN ケーブルは接続しないでください。

■途中で電源を切らないでください■

- セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり修理が必要となることがあります。

■操作は時間をあけないでください■

- セットアップ中にキー操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。
  30 分以上タッチパッドやキーを操作しなかった場合、画面に表示される内容が見えなくなる場合がありますが、故障ではありません。
  もう 1 度表示するには、SHIFT キーを押すか、タッチパッドをさわってください。
  SHIFT キーやタッチパッドでは復帰せず、Power LED が点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

電源コードと AC アダプタを接続し、電源を入れてください。
接続方法は『取扱説明書』を参照してください。
パソコンが起動したら、［Microsoft Windows へようこそ］画面が表示され、音楽が流れます。



- ［Microsoft Windows へようこそ］画面が表示されるまで、しばらく時間がかかる場合がありますが、この間に**絶対に電源を切らないようにしてください。**
- Windows のセットアップが完了するまで、音量の調節はできません。

1 ［次へ］ボタンをクリックする

画面右下の ? ボタンをクリックするか F1 キーを押すと、Windows セットアップのヘルプが表示されます。

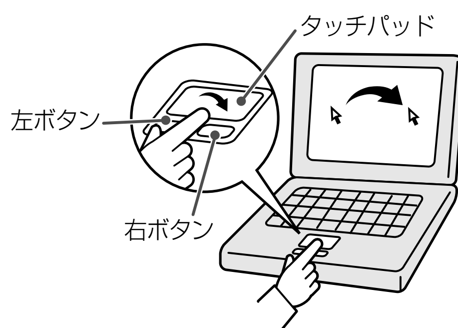
［使用許諾契約］画面が表示されます。



役立つ操作集

クリックとは？

タッチパッドに指をおいて、上下左右に動かすと、指の動きに合わせてディスプレイ上の「 」（ポインタ）が動きます。
目的の位置にポインタを合わせたあと、左ボタンを 1 回押す操作を「クリック」といいます。



2 ［使用許諾契約］の内容を確認して［同意します］の左にある○をクリックし、［次へ］ボタンをクリックする

契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできず、Windows XP を使用することはできません。
▼ ボタンをクリックすると契約書の続きを表示できます。

［コンピュータを保護してください］画面が表示されます。

3 ［自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます］の左にある○をクリックし、［次へ］ボタンをクリックする

［コンピュータに名前を付けてください］画面が表示されます。

4 ［このコンピュータの名前］にコンピュータ名を入力し、［次へ］ボタンをクリックする

半角英数字で任意の文字列を入力してください。**半角英数字以外は使用しないでください。**このとき、同じネットワークに接続するコンピュータとは別の名前にしてください。企業で本製品を使用する場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
［インターネットに接続する方法を指定してください。］画面が表示されます。
インターネット接続の設定は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。

5 ［省略］ボタンをクリックする

［インターネット接続が選択されませんでした］画面が表示された場合も、［省略］ボタンをクリックしてください。
［Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？］画面が表示されます。
マイクロソフト社へのユーザ登録は、市販の Windows XP を購入された場合のみ必要ですので、ここでは省略した場合について説明します。

6 ［いいえ、今回はユーザー登録しません］の左にある○をクリックし、［次へ］ボタンをクリックする

［このコンピュータを使うユーザーを指定してください］画面が表示されます。

7 ［ユーザー 1］欄に使う人の名前を入力する

［ユーザー 1］欄にポインタを合わせてクリックすると、「｜」（カーソル）が点滅します。

Windows XP では複数のユーザを設定し、それぞれのユーザごとに別々の環境を構築できますが、ここでは 1 人の名前だけ入力した場合について説明します。



メモ ローマ字入力で入力する場合

- 半角英数字で「dynabook」と入力したいときは、はじめにキーボードの（半角／全角）キーを押して、日本語入力システムMicrosoft IMEの日本語入力モードをオフにしてから、（D）（Y）（N）（A）（B）（O）（O）（K）と押します。
  キーを押しても文字が表示されない場合は、［ユーザー］欄に「｜」（カーソル）が表示され点滅していることを確認してください。表示されていないときは、［ユーザー］欄をクリックしてください。
  文字の入力を間違えたら、（BACKSPACE）キーを押して入力ミスした文字を削除します。

8 ［次へ］ボタンをクリックする

［設定が完了しました］画面が表示されます。

9 ［完了］ボタンをクリックする

Windows のセットアップが終了するとパソコンが自動的に再起動します。

役立つ操作集

日付と時刻の設定

購入後初めてセットアップを終えたあとは、次の手順で日付と時刻を合わせてください。
日付と時刻が合っていないと、本製品に用意されているウイルスチェックソフトなどの使用期限があるアプリケーションでは、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。そのため、日付と時刻は必ず合わせてください。

①[スタート]ボタンをクリックし、表示されたメニューから[コントロールパネル]をクリックする
②[日付、時刻、地域と言語のオプション]をクリックする
③[日付と時刻]をクリックする
[日付と時刻のプロパティ]画面が表示されます。
④[日付]欄の または をクリックして年号を合わせる
⑤[日付]欄の をクリックして月を合わせる
⑥[日付]欄のカレンダーで日をクリックする
⑦[時刻]欄の または をクリックして時刻を合わせる
変更する時／分／秒をクリックしてから、 または をクリックします。
⑧[OK]ボタンをクリックする
時刻は、画面右下の[通知領域]に表示されています。日付は、時刻表示部分にポインタを合わせるとしばらくして表示されます。正しく設定されているかどうか確認してください。

Windows XP でわからない操作があったとき

Windows XP の使いかたについては、[スタート]→[ヘルプとサポート]をクリックして、『ヘルプとサポート センター』を参照してください。
Windows XP の最新情報やアップデートの情報は次のホームページから確認できます。

- Windows XP について
  URL：http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/
- Windows XP のアップデート
  URL：http://windowsupdate.microsoft.com/

Windows セットアップが終了したら

Windows セットアップが終了したら、次の操作を行っておくことをおすすめします。

- Windows を最新の状態にする
  「Windows Update」で更新プログラムをインストールしてください。

参照 「Windows Update」について「Windows のヘルプ」

- リカバリディスクを作成する
  リカバリディスクでは、システムやアプリケーションをご購入の状態に復元（リカバリ）することができます。

参照 リカバリディスクの作成について「本章 6 リカバリディスクを作る」

なお、リカバリディスクを使って実際にリカバリを行うときは、操作の流れをよくご確認ください。

参照 リカバリについて 「3 章 買ったときの状態に戻すには」

4 使い終わったら

① 電源を切る

パソコンの電源を切るときは、まずWindowsを終了し、そのあとパソコン本体の電源を切ります。
電源を切る手順を覚えましょう。
間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失うおそれがあります。

お願い 電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- Disk LEDまたは記録メディアのLEDが点灯中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

1 ［スタート］ボタンをクリックし①、［終了オプション］をクリックする②



［コンピュータの電源を切る］画面が表示されます。

2 ［電源を切る］をクリックする



Windowsを終了したあと、パソコン本体の電源が自動的に切れます。
パソコン本体の電源が切れると、Power LEDが消灯します。

お願い 電源を切ったあとは

- パソコン本体に接続している機器（周辺機器）の電源は、パソコン本体の電源を切ったあとに切ってください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。強く閉じると衝撃でパソコン本体が故障する場合があります。
- パソコン本体や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。

■再起動

Windowsを終了したあと、すぐにもう1度起動することを「再起動」といいます。パソコンの設定を変えたときやパソコンがスムーズに動かなくなってしまったときなどに行います。
再起動するには、電源を切る操作の手順2で、［再起動］をクリックしてください。

② スタンバイ／休止状態

パソコンの使用を一時的に中断したいとき、スタンバイまたは休止状態にすると、パソコンの使用を中断したときの状態が保存されます。
再び処理を行う（電源スイッチを押す、ディスプレイを開くなど）と、パソコンの使用を中断したときの状態が再現されます。

⚠ 警 告

- **電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る**
  パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、パソコンの電源を切ってください。他の機器に影響を与えることがあります。
  ・無線機能は BIOS セットアップで無効にすることができます。BIOS セットアップでワイヤレスコミュニケーションを無効に設定し、ワイヤレスコミュニケーション LED が消灯しているのを確認してください。
  ・スタンバイや休止状態では、パソコンが自動的に動作することがあるため、飛行を妨げたり、他のシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。

参照 BIOS セットアップ『取扱説明書 2 章 1 BIOS セットアップを使う』

お願い　操作にあたって

中断する前に

- スタンバイまたは休止状態を実行する前にデータを保存することを推奨します。
- スタンバイまたは休止状態を実行するときは、メディアへの書き込みが完全に終了していることを確認してください。書き込み途中のデータがある状態でスタンバイまたは休止状態を実行したとき、データが正しく書き込まれないことがあります。メディアを取り出しできる状態になっていれば書き込みは終了しています。

中断したときは

- スタンバイ中に次のことを行わないでください。次回電源を入れたときに、システムが起動しないことがあります。
  ・スタンバイ中にバッテリパックをはずすこと
  また、スタンバイ中にバッテリ残量が減少したときも同様に、次回起動時にシステムが起動しないことがあります。
  システムが起動しないときは、電源スイッチを 5 秒以上押していったん電源を切ったあと、もう一度電源を入れてください。この場合、スタンバイ前の状態は保持できていません（ResumeFailure で起動します）。
- スタンバイ中や休止状態では、バッテリや周辺機器の取り付け／取りはずしは行わないでください。保存されていないデータは消失します。また、感電、故障のおそれがあります。
- スタンバイまたは休止状態を利用しないときは、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。保存されていないデータは消失します。
- パソコン本体を航空機や病院に持ち込むとき、スタンバイを使用しないで、必ず電源を切ってください。スタンバイ状態のまま持ち込むと、パソコンの電波により、計器や医療機器に影響を与えることがあります。

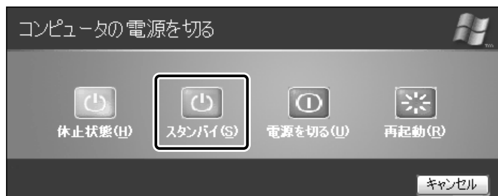
1 スタンバイの実行方法

スタンバイとは、作業を中断したときの状態をメモリに保存する機能です。次に電源スイッチを押すと、状態を再現することができます。
スタンバイはすばやく状態が再現されますが、休止状態よりバッテリを消耗します。バッテリを使い切ってしまうと保存されていないデータは消失するので、AC アダプタを取り付けて使用することを推奨します。

1 ［スタート］ボタンをクリックし①、［終了オプション］をクリックする②



2 ［スタンバイ］をクリックする



メモリへの保存が終わると、画面が真っ暗になります。

3 Power LEDがオレンジ色に点滅しているか確認する

電源スイッチを押すと、中断したときの状態を再現します。


メモ

- FN＋F3キーを押して、スタンバイにすることもできます。

2 休止状態の実行方法

休止状態とは、作業を中断したときの状態をハードディスクに保存する機能です。次に電源を入れると、状態を復元できます。

購入時の設定では、バッテリが消耗すると、パソコン本体は自動的に休止状態になります。休止状態が無効な場合はそのまま電源が切れるため、作業中のデータが消失するおそれがあります。バッテリ駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使用する場合は、休止状態の設定をすることを推奨します。

購入時は、休止状態が有効に設定されています。

1 休止状態を有効に設定する

① ［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする
② ［電源オプション］をクリックする
③ ［休止状態］タブで［休止状態を有効にする］をチェックする
④ ［OK］ボタンをクリックする
　休止状態が有効になります。

2 ［スタート］ボタンをクリックし①、［終了オプション］をクリックする②



3 ［休止状態］をクリックする



電源スイッチを押すと、中断したときの状態を再現します。


メモ

- FN＋F4キーを押して、休止状態にすることもできます。

③ 簡単に電源を切る／パソコンの使用を中断する

［スタート］メニューから操作せずに、電源スイッチを押したときやディスプレイを閉じたときに、電源を切る（電源オフ）、またはスタンバイ／休止状態にすることができます。
休止状態にするには、あらかじめ設定が必要です。購入時は、休止状態が有効に設定されていますが、解除した場合は「本節 ②-2 手順 1」を参照して、設定してください。

1 電源スイッチを押す

1 電源スイッチを押したときの動作を設定する

① ［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリック→［東芝省電力］をクリックする
② ［アクション設定］タブの［電源ボタンを押したとき］で［入力を求める］［スタンバイ］［休止状態］［シャットダウン］のいずれかを選択する
［何もしない］に設定すると、特に変化はありません。
③ ［OK］ボタンをクリックする

2 電源スイッチを押す

選択した状態で電源を切る、または作業を中断します。
手順 1 の②で［入力を求める］を選択したときは、［Windows のシャットダウン］画面または［コンピュータの電源を切る］画面が表示されます。［何もしない］を選択したときは、電源スイッチを押しても何も動作しません。

2 ディスプレイを閉じる

ディスプレイを閉じることによって［スタンバイ］［休止状態］のうち、あらかじめ設定した状態へ移行する機能を、パネルスイッチ機能といいます。購入時には［休止状態］に設定されています。変更する場合は次の手順を行ってください。

1 ディスプレイを閉じたときの動作を設定する

① ［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリック→［東芝省電力］をクリックする
② ［アクション設定］タブの［コンピュータを閉じたとき］で［スタンバイ］［休止状態］のいずれかを選択する
［何もしない］に設定すると、パネルスイッチ機能は働きません。
③ ［OK］ボタンをクリックする

2 ディスプレイを閉じる

選択した状態で電源を切る、または作業を中断します。
手順 1 の②で［スタンバイ］または［休止状態］を選択したときは、次にディスプレイを開くと、自動的に状態が再現されます。

5 画面で見るマニュアル

Windows が起動しているときに、《オンラインマニュアル》をパソコン画面上で見ることができます。
《オンラインマニュアル》には、本製品の使用方法についての説明がより多く記載されています。

次のように操作すると、「Adobe Reader」が起動し、《オンラインマニュアル》が表示されます。
初めて「Adobe Reader」を起動したときは、［ソフトウェア使用許諾契約書］画面が表示されます。契約内容をお読みのうえ、［同意する］ボタンをクリックしてください。［同意する］ボタンをクリックしないと、「Adobe Reader」をご使用になれません。また、《オンラインマニュアル》を見ることはできません。

起動方法

1 デスクトップ上の［オンラインマニュアル］アイコン（ ）をダブルクリックする

《オンラインマニュアル》が起動します。



メモ

- 『取扱説明書』や『セットアップガイド（本書）』の内容も、パソコンの画面上で見ることができます。東芝 PC 総合情報サイト「dynabook.com（http://dynabook.com/pc/）」からダウンロードしてください。

6 リカバリディスクを作る

＊ 本機能を使用するには、オプションの外付け CD ／ DVD ドライブが必要です。

本製品には、システムやアプリケーションを購入時の状態に復元するためのリカバリ（再セットアップ）ツールが搭載されています。「TOSHIBA Recovery Disc Creator」を使ってリカバリディスクを作成し、あらかじめ、リカバリツールのバックアップをとっておくことをおすすめします。
何らかのトラブルでハードディスクからリカバリできない場合でも、リカバリディスクからリカバリをすることができます。
リカバリディスクがない状態で、ハードディスクからリカバリが行えない場合は、修理が必要になる可能性があります。東芝 PC あんしんサポートに相談してください。

■リカバリ（再セットアップ）とは■
リカバリ（再セットアップ）をすると、ハードディスクドライブ内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Windows ログオンパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定していない状態になります。
詳細は、「3 章 1 リカバリとは」を参照してください。
また、データのバックアップについては、普段から定期的に行っておくことをおすすめします。

なお、サポートしているオプションの外付け CD ／ DVD ドライブは、次のとおりです。

- DVD スーパーマルチドライブ : IPCS110A
- CD-R/RW&DVD-ROM ドライブ : IPCS111A

リカバリディスクを作成できる記録メディア

「TOSHIBA Recovery Disc Creator」では、次の記録メディアのいずれかを使用できますが、接続する外付け CD ／ DVD ドライブの種類によって、使用できる記録メディアが異なります。『CD ／ DVD ドライブに付属の取扱説明書』と合わせて確認してください。
作成する記録メディアの種類は、［TOSHIBA Recovery Disc Creator］画面の［ディスク構成］で確認できます。

- DVD-R
- DVD-RW
- DVD+R
- DVD+RW
- CD-R
- CD-RW

あらかじめバックアップ用の記録メディアを用意してください。［TOSHIBA Recovery Disc Creator］画面で表示されるディスク番号が、必要な枚数です。複数枚使用する場合は、同じ規格のメディアで統一してください。

お願い 記録メディアについて／記録メディアの使用推奨メーカ

＊使用できる記録メディアについて、『CD ／ DVD ドライブに付属の取扱説明書』を確認してください。

- 推奨するメーカの記録ディアを使用してください。
- 書き込み速度に対応した記録メディアを使用してください。
- 規格に準拠した記録メディアを使用してください。

お願い リカバリディスクの作成にあたって

- 「TOSHIBA Recovery Disc Creator」ではDVD-RAMを使用できません。
- 「TOSHIBA Recovery Disc Creator」を使ってリカバリディスクなどを作成するときは、ほかのアプリケーションソフトをすべて終了させてから、行ってください。

CD／DVDに書き込みを行うときは、次の注意をよく読んでから使用してください。
守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、記録メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。

- 書き込みに失敗したCD／DVDの損害については、当社は一切その責任を負いません。また、記憶内容の変化・消失など、CD／DVDに保存した内容の損害および内容の損失・消失により生じる経済的損害といった派生的損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- CD／DVDに書き込むときには、それぞれの書き込み速度に対応し、それぞれの規格に準拠した記録メディアを使用してください。また、推奨するメーカの記録メディアを使用してください。

参照 CD／DVDについて『CD／DVDドライブに付属の取扱説明書』

- バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを接続してパソコン本体を電源コンセントに接続して使用してください。
- 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイ、休止状態、シャットダウンまたは再起動を実行しないでください。

参照 省電力機能について《オンラインマニュアル》

- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  ・スクリーンセーバ
  ・ウイルスチェックソフト
  ・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  ・音楽CDやDVDの再生アプリケーション
  ・通信アプリケーション　　など
  ソフトウェアによっては、動作の不安定やデータの破損の原因となります。
- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作を行わないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 書き込み中は、周辺機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。

参照 周辺機器について《オンラインマニュアル》

- パソコン本体から携帯電話、およびほかの無線通信装置を離してください。

リカバリツールのリカバリディスクを作成するには、以降の説明を参照してください。

1 インストール方法

「TOSHIBA Recovery Disc Creator」は、購入時の状態ではインストールされていません。次の手順でインストールしてください。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をクリックする

2 ［セットアップ画面へ］をクリックする

3 ［東芝ユーティリティ］タブをクリックする

4 画面左側の［TOSHIBA Recovery Disc Creator］をクリックし、［「TOSHIBA Recovery Disc Creator」のセットアップ］をクリックする

5 画面の指示に従ってインストールする

［ファイルのダウンロード］画面が表示された場合は、［実行］ボタンをクリックしてください。

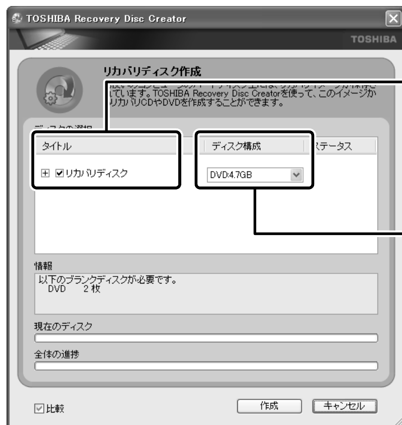
2 起動方法

あらかじめ CD／DVD ドライブをパソコン本体に接続しておいてください。

参照 接続方法『CD／DVD ドライブに付属の取扱説明書』

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［リカバリディスク作成ツール］をクリックする

「TOSHIBA Recovery Disc Creator」が起動します。



タイトル
チェックボックスにチェックがついている（☑）ディスクを作成します。
⊞をクリックすると作成するディスクの一覧が表示されます。

ディスク構成
作成するディスクの記録メディアの種類を選択することができます。

（表示例）

「TOSHIBA Recovery Disc Creator」で作成するディスクは、画面に表示される枚数分、記録メディアが必要になります。

3 リカバリディスクを作成する

1 ［タイトル］で作成するディスクをチェックする（☑）

チェックボックスにチェックがついているディスクを作成します。作成する必要のないディスクは、チェックをはずしてください。

2 ［作成］ボタンをクリックする

作成するリカバリディスクの確認と記録メディアのセットを求める画面が表示されます。

3 記録メディアをセットする

参照 CD／DVD のセット『CD／DVD ドライブに付属の取扱説明書』

4 ［OK］ボタンをクリックする

作成が開始され、［現在のディスク］に作成しているディスクの進捗状況が表示されます。
作成を途中で中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

作成が終了すると、記録メディアが自動的に出てきます。
作成するディスクが複数枚ある場合は、メッセージに従って記録メディアを入れ替えてください。

5 メッセージを確認し、［OK］ボタンをクリックする

ディスク作成後は、作成したディスクの種類（リカバリディスクなど）と番号がわかるように、ディスクに目印をつけてください。例えば、「リカバリディスク XX（番号）」というように、レーベル面に油性のフェルトペンなどで記載してください。リカバリをするとき、この番号通りにディスクを使用しないと、正しくリカバリされません。必ずディスク番号がわかるようにして保管してください。

6 ［閉じる］ボタン（☒）をクリックする

［TOSHIBA Recovery Disc Creator］画面が閉じ、ディスクの作成を終了します。
リカバリディスクからリカバリをする操作手順については、「3 章 2 リカバリ＝再セットアップをする」を参照してください。

参照 「TOSHIBA Recovery Disc Creator」のお問い合わせ先『取扱説明書 付録 2 お問い合わせ先』

2章

パソコンの動作がおかしいときは



パソコンの操作をしていて困ったときに、どうしたら良いかをQ&A形式で説明しています。



1 Q&A集

電源を入れるとき／切るとき

Q 電源スイッチを押しても反応しない

A 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。

Power LED が点灯するまで押し続けてください。

Q １度電源が入りかけるがすぐに切れる 電源が入らない

(Battery LED がオレンジ色にに点滅しているとき)

A バッテリの充電量が少ない可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用の AC アダプタを接続して、電源を供給する
（他製品用の AC アダプタは使用できません）
- 充電済みのバッテリパックを取り付ける

参照 バッテリの充電について《オンラインマニュアル》

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。

A パソコン本体からいったん、電源コードと AC アダプタ、バッテリパックをすべて取りはずしてください。

①電源コードと AC アダプタを取りはずす
パソコンに接続している周辺機器も取りはずしてください。
②バッテリパックを取りはずす
電源コードと AC アダプタ、バッテリパックを取りはずすと、電源が入らない状態になります。
そのままの状態で、しばらく放置してください。
③バッテリパックを取り付ける
④電源コードと AC アダプタを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む
⑤電源を入れる

参照 電源コードと AC アダプタの接続
『取扱説明書』

参照 バッテリパックの取り付け／取りはずし
『取扱説明書』

以上の手順でも解決できない場合は、東芝 PC あんしんサポートに連絡してください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない

A 起動ドライブをハードディスク記録ドライブ以外に設定した場合に、システムの入っていない記録メディアがセットされている可能性があります。

記録システムが入っているメディアと取り替えるか、またはドライブからメディアを取り出してから、何かキーを押してください。
それでも正常に起動しない場合は、次のように操作してください。

①電源スイッチを押し、［dynabook］画面が表示されている間にF12キーを数回押す
②表示されたメニューの中からシステムの入っているドライブ（通常はハードディスクドライブ）を↑↓キーで選択し、ENTERキーを押す

A セーフ モードまたは前回正常に起動したときの構成で起動しなおすことができます。

電源スイッチを5秒以上押して強制終了したあと、起動しなおしてください。
起動方法については、『取扱説明書』を参照してください。

Q 使用中に前触れもなく突然電源が切れることがある

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。
それでも電源が切れる場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A バッテリ駆動で使用している場合、バッテリの充電量がなくなった可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用のACアダプタを接続して、電源を供給する
（他製品用のACアダプタは使用できません）
- 充電済みのバッテリパックを取り付ける

参照 バッテリの充電について《オンラインマニュアル》

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

A Power LEDが点灯（点滅ではなく）している場合、表示自動停止機能が働いた可能性があります。

画面には何も表示されませんが実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。
SHIFTキーやCTRLキーを押す、またはタッチパッドを操作すると表示が復帰します。外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

A Power LEDがオレンジ色に点滅しているか、消灯している場合、自動的にスタンバイや休止状態になった可能性があります。

一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスタンバイや休止状態にするように設定されています。
復帰させるには、電源スイッチを押してください。
また、次の手順で設定を解除できます。

①［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリック→［東芝省電力］をクリックする
②［プロファイル］で利用するプロファイルを選択する
③［基本設定］タブの［システムスタンバイ］および［システム休止状態］のチェックをはずす
④［OK］ボタンをクリックする

画面／表示

Q 青い画面（ブルースクリーン）が表示され、操作できなくなった

A 電源スイッチを5秒以上押してWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スタンバイ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。
強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本項-Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

システム／ハードディスク

Q パソコンが応答しなくなった

A アプリケーションを終了できない場合や、アプリケーションを終了してもトラブルが解消しない場合は、パソコンを再起動してください。

参照 再起動「1 章 4-①- 再起動」

A Windows 起動時に問題が起きた場合や、パソコンを再起動できない場合は、電源スイッチを５秒以上押して Windows を強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スタンバイ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。
強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本項 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q Windows がセーフモードで起動した

A パソコンを再起動してください。

参照 再起動「1 章 4-①- 再起動」

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本項 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない

A ドライバやシステムのアップデート中（更新中）にトラブルが発生した場合は、直前の正常に起動したときの構成で起動してください。

参照 前回正常に起動したときの構成で起動する
「本項 - Q 電源を入れたが、システムが起動しない」

A アプリケーションをインストールしてから、この問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリケーションが Windows の動作に影響している可能性があります。

アプリケーションをアンインストールしてください。

参照 『アプリケーションに付属の説明書』

A 周辺機器を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続した周辺機器が Windows の動作に影響している可能性があります。

周辺機器を取りはずしてください。周辺機器によっては、周辺機器に付属のドライバやアプリケーションをパソコンにインストールしている場合があります。これらのドライバやアプリケーションもアンインストールしてください。

参照 周辺機器の取り扱いについて
『周辺機器に付属の説明書』

メッセージ

Q 「パスワードを入力してください。」と表示された

A BIOS セットアップで設定したパスワードを入力し、ENTER キーを押してください。

パスワードを忘れた場合は、使用している機種（型番）を確認後、東芝 PC あんしんサポートに連絡してください。有償にてパスワードを解除します。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 「内蔵 HDD1 のユーザパスワードの入力」と表示された

A BIOS セットアップで設定した HDD パスワードを使って認証を行ってください。

次の操作を行ってください。

①HDDパスワードを入力し、ENTER キーを押す

HDD パスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスクドライブは永久に使用できなくなり、交換対応となります。この場合は有償です。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 「パスワードが正しくありません。」「HDD パスワードが違います。」と表示された

A **入力モードの状態により大文字／小文字を誤って入力した可能性があります。**

Caps Lock LED を確認してください。必要に応じて(SHIFT)+(CAPS LOCK 英数)キーを押して入力の状態を切り替え、もう 1 度入力してください。

Q 画面が青くなり、次のようなメッセージが画面一面に表示された

- 「A problem has been detected and windows has been shut down to prevent damage to your computer.」

A **ハードウェアの接続に不具合が起きた、または何らかの原因で電源を切る前の状態を再現できなくなったというメッセージです。**

次の操作を行ってください。

①電源スイッチを 5 秒以上押し、パソコンを強制終了する
②再び電源スイッチを押して、パソコンを再起動する
「システムを前の場所から再起動できませんでした。」というメッセージが表示されます。
③「復元データを削除してシステムブートメニューにすすみます」が反転表示していることを確認し、(ENTER)キーを押す
Windows が起動します。

Q 起動時に「The firmware has detected that a CMOS battery fail occurred. <F1> continue,<F2> to setup」と表示され、Windows が起動できない

A **時計用バッテリが不足しています。**

時計用バッテリは、AC アダプタを接続して電源を入れているときに充電されます。

参照 時計用バッテリについて《オンラインマニュアル》

AC アダプタを接続後、次の手順で日付と時刻を設定してください。

①(F1)キーを押す
Windows が起動します。
②［コントロールパネル］を開く
③［日付、時刻、地域と言語のオプション］をクリック→［日付と時刻を変更する］をクリックする
日付と時刻を設定する画面が表示されます。
④日付と時刻を合わせる
⑤［OK］ボタンをクリックする

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

A **日付と時刻を設定してください。**

Windows Update やアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

参照 日付と時刻の設定について
「1 章 3 Windows セットアップ」

Q その他のメッセージが表示された

A **使用しているシステムやアプリケーションの説明書を確認してください。**

その他

Q ハードディスクからリカバリできなくなったときは

A **ハードディスクドライブに搭載されているリカバリ（再セットアップ）ツール（システムを復元するためのもの）のデータが破損、もしくは誤って消去されている可能性があります。**

また、市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリができなくなることがあります。
「TOSHIBA Recovery Disc Creator」で作成したリカバリディスクを使って、リカバリしてください。

参照 リカバリの操作方法
「3 章 2-③ リカバリディスクからリカバリをする」

リカバリディスクがない場合は、修理が必要になる可能性があります。東芝 PC あんしんサポートに相談してください。

Q 異常な臭いや過熱に気づいた！

A **パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してバッテリパックをパソコン本体から取りはずしてから東芝 PC あんしんサポートに相談してください。**

なお、連絡の際には次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- 購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）

Q このQ&A集を読んでも解決できない

A このほかにもいろいろな解決方法があります。

1《オンラインマニュアル》を見る

このQ&A集は、パソコンの電源が入らないなど、《オンラインマニュアル》を見られない状況でのQ&Aのみ記載しています。《オンラインマニュアル》の「Q&A」には、このほかにも困ったことが起きた場合の対処方法を記載しています。

2「dynabook.com」の「よくあるご質問（FAQ）」を調べる

インターネットに接続できるときは、東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」でサポート情報を見てください。お問い合わせの多い質問やホットなQ&Aが掲載されています。
「A．回答・対処方法」の説明を読んでも問題が解決しない場合は、説明のあとのアンケートに引き続き、質問メールを出すこともできます。

＊ メールでの質問には「お客様登録」が必要です。

3 東芝PCあんしんサポートに電話する

パソコン本体のトラブルは、東芝PCあんしんサポートでお答えします。『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A パソコン本体のトラブルの場合は、『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A アプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照 アプリケーションのお問い合わせ先
『取扱説明書』

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照 周辺機器のお問い合わせ先
『周辺機器に付属の説明書』

3章

買ったときの状態に戻すには －リカバリ－



この章では、パソコンの動作がおかしくなり、いろいろなトラブル解消方法では解決できないときに行う「リカバリ」について説明しています。リカバリを行うことでシステムやアプリケーションを購入時の状態に復元できます。作成したデータなどが消去されますので、よく読んでから行ってください。



1 リカバリとは

リカバリ（再セットアップ）とは、お客様が作成したデータや、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべて削除し、もう 1 度ご購入時の状態に復元する作業です。
リカバリをするとハードディスク内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Windows ログオンパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定していない状態になります。

1 度リカバリを始めると、途中で中止したり、パソコンの電源を切ることができません。
次のような場合で、どうしても改善する方法がないときにリカバリをしてください。

- パソコンの動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- ハードディスクにあるシステムファイルを削除してしまった
- コンピュータウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない*[1]
- パソコンの調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- 東芝 PC あんしんサポートに相談した結果、「リカバリが必要」と診断された

＊1　アプリケーションが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

① リカバリをする前に確認すること

パソコンの動作がおかしいと感じたとき、次の方法を実行してみてください。リカバリをしなくても、状態が改善される場合があります。次の方法をすべて試してみても状態が改善されない場合に、リカバリを実行してください。

1 ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する

本製品に用意されているウイルスチェックソフトを使って、ウイルスに感染していないかどうかを確認してください。ウイルスが検出されたら、ウイルスチェックソフトで駆除できます。その際、ウイルス定義ファイル（パターンファイル）は、最新のものに更新しておいてください。場合によっては、ウイルスチェックソフトで駆除できないウイルスもあります。そのときは、リカバリを実行してください。

2 セーフ モードで起動できるか実行してみる

Windows が起動できないときは、セーフ モードで起動してみてください。セーフ モードでは、最低限の機能で Windows を起動させることができます。
起動方法については、『取扱説明書』を参照してください。
セーフ モードで起動できた場合は、リカバリをする前に東芝 PC あんしんサポートにご相談ください。

3 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認する

USB 対応機器など、購入後に追加で増設した機器が障害の原因となっている場合があります。それらを取りはずしてから、再度確認してみてください。また、電源関連のトラブルの場合は、バッテリをいったん取りはずし、再度取り付けてから起動し直してみてください。

参照　機器の取りはずし 『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

4 ほかのトラブル解消方法を探す

パソコンの調子がおかしいと思ったときは、《オンラインマニュアル》で解消へのアプローチを確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。
それでも解消できないときに、リカバリをしてください。

② リカバリをはじめる前にしておくこと

リカバリをはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

1 準備するもの

- 『セットアップガイド』（本書）
- 巻末のリカバリ（再セットアップ）チェックシートをコピーしたもの
- リカバリディスク（作成したリカバリディスクからリカバリする場合）
- 外付けの CD ／ DVD ドライブ（作成したリカバリディスクからリカバリする場合）

＊ 外付けの CD ／ DVD ドライブは別売りです。

2 必要なデータのバックアップをとる

リカバリをすると、購入後に作成したデータやインストールしたアプリケーションなど、ハードディスクに保存していた内容は削除されて、設定が初期化されます。次のようなデータは削除されますので、可能な場合は、記録メディア（CD や USB フラッシュメモリなど）にバックアップをとってください。

＊ 外付けの CD ／ DVD ドライブを使用してデータを書き込む場合、アプリケーションは本製品に添付されている「TOSHIBA Disc Creator」または「TOSHIBA Direct Disc Writer」をご使用ください。

- マイドキュメントのデータ
- デスクトップに保存したデータ
- インターネットエクスプローラのお気に入り
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- お客様がインストールされたアプリケーションのデータ
- お客様が作成されたフォルダとファイル

また、リカバリ後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。
ただし、ハードディスクをフォーマットしたり、システムファイルを削除した場合や、電源を入れてもシステムが起動しなくなってからでは、バックアップをとることができません。また、リカバリを行っても、ハードディスクに保存されていたデータは復元できません。
バックアップは、普段から定期的に行っておくことを推奨します。

3 アプリケーションのセットアップ用記録メディアを確認する

「Microsoft Office＊1」や購入後に追加でインストールしたアプリケーション、プリンタなどの周辺機器のドライバは、リカバリ後にインストールする必要があります。
これらを再度インストールするための記録メディア（CD など）が、お手元にあることを確認してください。
また、アプリケーションによっては、再度インストールするときに ID 番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

＊1　Office 搭載モデルのみ

4 各種設定を確認する

インターネットや LAN の設定、Windows ログオン時のアカウント名などの設定項目を、メモなどに控えておいてください。ウイルスチェックソフトなど、有償で購入した認証キーなどがセットアップ時に必要なアプリケーションは、それらの番号を控えておいてください。確認方法は各アプリケーションのヘルプやお問い合わせ先にご確認ください。

5 音量を調節する

リカバリ後、Windows セットアップが終了するまで音量の調節はできません。
あらかじめ音量を調節してください。FN＋ESCキーを使って、内蔵スピーカやヘッドホンの音量をミュート（消音）にしている場合は、もう一度FN＋ESCキーを押して元に戻しておいてください。

6 周辺機器をすべて取りはずす

USB対応機器など、パソコン本体に取り付けている物は、ACアダプタのケーブル以外すべて取りはずしてください。
このとき、パソコン本体の電源を切ってから行ってください。

参照 機器の取りはずし 『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリができなくなることがあります。

2 リカバリ=再セットアップをする

本製品にプレインストールされているWindowsやアプリケーションを復元する方法について説明します。
本製品のリカバリは、ユーザ権限に関わらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人にリカバリを実行されないよう、ユーザパスワードを設定しておくことをおすすめします。

参照 ユーザパスワード《オンラインマニュアル》

① いくつかあるリカバリ方法

リカバリには、次の方法があります。

- ハードディスクドライブからリカバリをする
- 作成したリカバリディスクからリカバリをする

通常はハードディスクドライブからリカバリをしてください。
リカバリディスクからのリカバリは、ハードディスクドライブのリカバリ（再セットアップ）ツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、ハードディスクからリカバリができなかった場合などに行うことをおすすめします。
リカバリディスクからリカバリをする場合は、「1章6 リカバリディスクを作る」を確認して、リカバリディスクを用意してください。

② ハードディスクからリカバリをする

ハードディスクのリカバリツールでは、次のメニューのなかからリカバリ方法を選択することができます。あらかじめリカバリ方法を決めておくとスムーズに操作できます。

■ご購入時の状態に復元■
ハードディスクをパソコンを購入したときの状態（パーティションが2個の状態）に戻し、購入時にプレインストールされていたシステムとアプリケーションを復元します。購入後に作成したデータや設定などはすべて消去されます。

■パーティションサイズを変更せずに復元■（推奨）
パーティションサイズを変更して使用していた場合、そのパーティションの構造を保ったままシステムを復元します。Cドライブに保存されていたデータは消去され、購入時の状態に戻りますが、その他のドライブに保存されていたデータや設定は、そのまま残ります。ただし、BIOS情報やコンピュータウイルスなどの影響でデータが壊れている場合、Cドライブ以外の領域にあるデータも使えないことがあります。

■パーティションサイズを指定して復元■
Cドライブ（ハードディスク）のサイズを指定して復元することができます。Cドライブ以外のハードディスクの領域は1つの領域になり、データや設定などはすべて消去されます。


メモ

- どのメニューを選択しても、Cドライブにはリカバリツールから購入時と同じシステムが復元されます。

ここでは、「パーティションサイズを変更せずに復元」する方法を例にして説明します。

1 パソコンの電源を切る（シャットダウン）

2 ACアダプタと電源コードを接続する

3 0（ゼロ）キーを押しながら電源スイッチを押し、［dynabook］画面が表示されたら手をはなす

ユーザパスワードを設定している場合は、パスワード入力画面が表示されます。
ユーザパスワードを入力してENTERキーを押してください。
メッセージが表示されます。

4 画面の内容を確認し、［はい］ボタンをクリックする

［復元方法の選択］画面が表示されます。

5 **［初期インストールソフトウェアの復元］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする**

［ハードディスク上の全データの消去］は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、ハードディスクのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスク上にある、リカバリツールの領域以外のすべてのデータが削除されます。

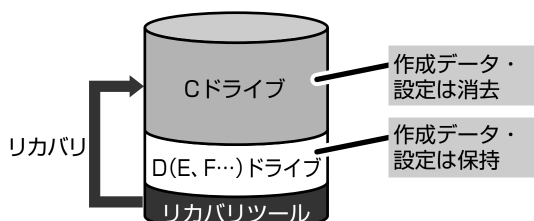
参照 ハードディスクの消去について 「4 章 1-2 ハードディスクの内容をすべて消去する」

6 **［パーティションサイズを変更せずに復元］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする**

［パーティションサイズを変更せずに復元］を選択した場合の意味と動作は、次のとおりです。
ほかのメニューを選択した場合については、次のページを参照してください。

・［ご購入時の状態に復元］ ：P.33
・［パーティションサイズを指定して復元］：P.33

● 「パーティションサイズを変更せずに復元」とは
「パーティションサイズを指定して復元」を使って、すでにハードディスクの領域を分割している場合などに使用します。C ドライブがリカバリされ、それ以外の領域のデータはそのまま残ります。



C ドライブ（ ）にあたる領域は、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

（ハードディスクの領域を分割している場合の表示例）

「先頭パーティションのデータは、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。


メモ

● ［ご購入時の状態に復元］と［パーティションサイズを変更せずに復元］は、リカバリツールの領域が確保されているため、ハードディスクの 100%を使用することはできません。

7 **［次へ］ボタンをクリックする**

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

［次へ］ボタンをクリックすると復元が実行され、［パーティションを初期化しています。しばらくお待ちください。］画面が表示されます。
長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

復元中は、リカバリの経過に従い、画面が変わります。
復元が完了すると、終了画面が表示されます。

8 **［終了］ボタンをクリックする**

システムが再起動し、Windows のセットアップ画面が表示されます。

9 **Windows のセットアップを行う**

参照 詳細について 「1 章 3 Windows セットアップ」

購入後に変更した設定がある場合は、Windows のセットアップ後に、もう 1 度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、購入後に追加したアプリケーションのインストールも、Windows のセットアップ後に行ってください。

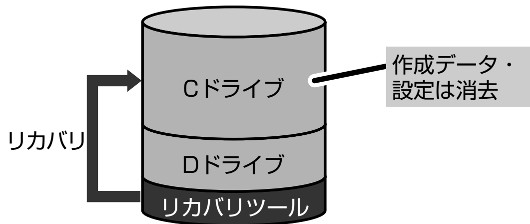
参照 周辺機器の接続 『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

［初期インストールソフトウェアの復元］画面のリカバリメニューについて

「本節 ② ハードディスクからリカバリをする」の手順６の［初期インストールソフトウェアの復元］画面で表示されるリカバリメニューの意味と動作は次のようになります。

■ご購入時の状態に復元■

パソコンを購入したときの状態（パーティションが２個の状態）に戻します。



作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

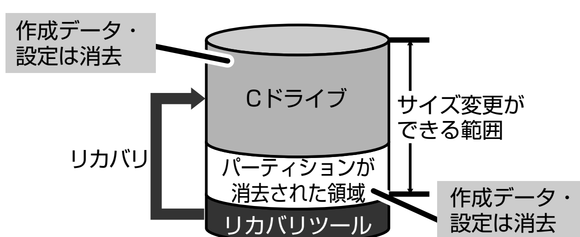
手順６のあとは「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

■パーティションサイズを指定して復元 ■

ハードディスク（C ドライブ）のサイズを変更します。

C ドライブ以外の領域区分（パーティション） は消去され、１つの領域になります。その領域（ ）は「ディスクの管理」から再設定を行うと、再びドライブとして使用できるようになります。

参照 ディスクの管理 「本章 3-①-1 パーティションを設定する」



作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

①［C：ドライブのサイズ］で をクリックしてパーティション（C ドライブ）のサイズを指定する

②［次へ］ボタンをクリックする

手順６のあとは「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

③ リカバリディスクからリカバリをする

＊ここでは、作成したリカバリディスクを使用した場合について説明します。

次のメニューのなかからリカバリ方法を選択することができます。あらかじめリカバリ方法を決めておくとスムーズに操作できます。

■ご購入時の状態に復元■
ハードディスクをパソコンを購入したときの状態（パーティションが2個の状態）に戻し、購入時にプレインストールされていたシステムとアプリケーションを復元します。購入後に作成したデータや設定などはすべて消去されます。

■ Windowsパーティションのみに復元■
ハードディスク全体を1つのパーティション（Cドライブのみ）にするため、全領域を使用できるようになります。なお、リカバリツールの領域は消去され、復元されません。購入時にプレインストールされていたシステムとアプリケーションを復元します。また購入後に作成したデータなどはすべて消去されます。

■パーティションサイズを変更せずに復元■
パーティションサイズを変更して使用していた場合、そのパーティションの構造を保ったままシステムを復元します。Cドライブに保存されていたデータは消去され、購入時の状態に戻りますが、その他のドライブに保存されていたデータは、そのまま残ります。ただし、BIOS情報やコンピュータウイルスなどの影響でデータが壊れている場合、Cドライブ以外の領域にあるデータも使えないことがあります。

■パーティションサイズを指定して復元■
Cドライブ（ハードディスク）のサイズを指定して復元することができます。Cドライブ以外のハードディスクの領域は1つの領域になり、そこに保存されていたデータや設定などはすべて消去されます。


メモ

- どのメニューを選択しても、Cドライブには購入時と同じシステムが復元されます。

あらかじめCD／DVDドライブをパソコン本体に接続しておいてください。

参照 接続方法 『CD／DVDドライブに付属の取扱説明書』

1 **ACアダプタと電源コードを接続する**

2 **リカバリディスクをセットして、パソコンの電源を切る（シャットダウン）**

リカバリディスクが複数枚ある場合は、「ディスク1」からセットしてください。

3 **電源スイッチを押し、［dynabook］画面が表示されている間にF12キーを数回押す**

ユーザパスワードを設定している場合は、パスワード入力画面が表示されます。
ユーザパスワードを入力してENTERキーを押してください。

4 **↑↓キーで［CD/DVD］を選択し、ENTERキーを押す**

メッセージ画面が表示されます。

5 **画面の内容を確認し、［はい］ボタンをクリックする**

［復元方法の選択］画面が表示されます。

6 **［初期インストールソフトウェアの復元］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする**

［ハードディスク上の全データの消去］は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、ハードディスクのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスク上にある、すべてのデータが削除されます。

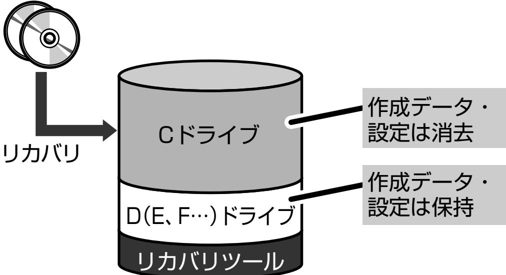
参照 ハードディスクの消去について 「4章 1-2 ハードディスクの内容をすべて消去する」

7 ［パーティションサイズを変更せずに復元］をクリックし、［次へ］ボタンをクリックする

［パーティションサイズを変更せずに復元］を選択した場合の意味と動作は、次のとおりです。
ほかのメニューを選択した場合については、次のページを参照してください。

・［ご購入時の状態に復元］ ：P.36
・［Windows パーティションのみに復元］：P.36
・［パーティションサイズを指定して復元］：P.36

● 「パーティションサイズを変更せずに復元」とは
「パーティションサイズを指定して復元」を使って、すでにハードディスクの領域を分割している場合などに使用します。C ドライブがリカバリされ、それ以外の領域のデータはそのまま残ります。



C ドライブ（ ）にあたる領域は、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

（ハードディスクの領域を分割している場合の表示例）

「先頭パーティションのデータは、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。



● 「ご購入時の状態に復元」と「パーティションサイズを変更せずに復元」を選択した場合は、リカバリツールが確保されているため、ハードディスクの 100% を使用することができません。

8 ［次へ］ボタンをクリックする

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

［次へ］ボタンをクリックすると復元が実行され、［パーティションを初期化しています。しばらくお待ちください。］画面が表示されます。
長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

復元中は、リカバリの経過に従い、画面が変わります。

＊ 最初に［コピーしています。］画面が表示される場合があります。
長い時間表示される場合もありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

リカバリディスクが複数枚ある場合、画面の指示に従って入れ替えてください。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

9 ［終了］ボタンをクリックする

自動的にディスクが出てきます。リカバリディスクを取り出してください。
システムが再起動し、Windows のセットアップ画面が表示されます。

10 Windows のセットアップを行う

参照 詳細について 「1 章 3 Windows セットアップ」

購入後に変更した設定がある場合は、Windows のセットアップ後に、もう 1 度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、購入後に追加したアプリケーションのインストールも、Windows のセットアップ後に行ってください。

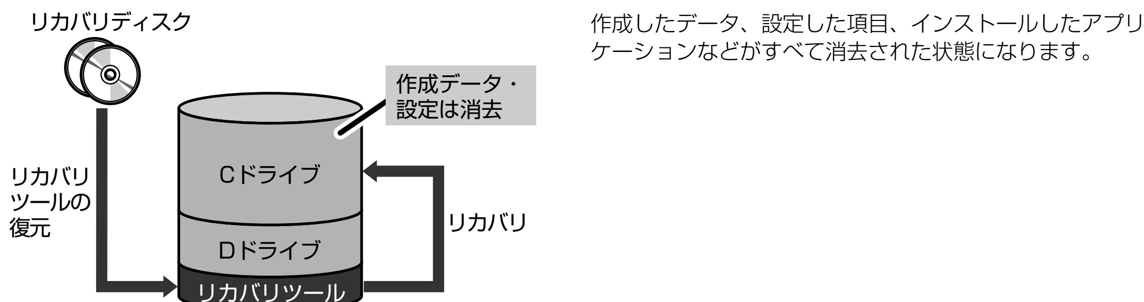
参照 周辺機器の接続 『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

［初期インストールソフトウェアの復元］画面のリカバリメニューについて

「本節 ③ リカバリディスクからリカバリをする」の手順７の［初期インストールソフトウェアの復元］画面で表示されるリカバリメニューの意味と動作は次のようになります。

■ご購入時の状態に復元■

パソコンを購入したときの状態（パーティションが２個の状態）に戻します。

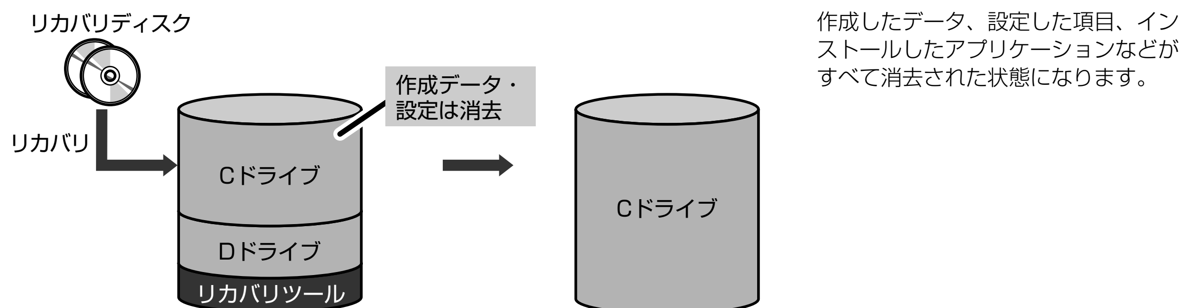


作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

手順７のあとは「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

■ Windows パーティションのみに復元■

ハードディスク全体を１つのパーティションにします。リカバリツールの領域は消去されます。



作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

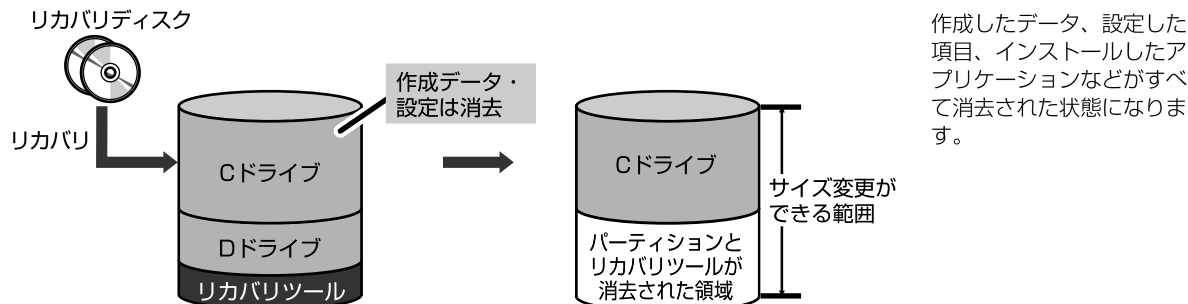
手順７のあとは「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

■パーティションサイズを指定して復元 ■

ハードディスク（C ドライブ）のサイズを変更します。

C ドライブ以外の領域区分（パーティション） とリカバリツールの領域は消去され、１つの領域になります。その領域は「ディスクの管理」から再設定を行うと、再びドライブとして使用できるようになります。

参照 ディスクの管理 「本章 3-①-1 パーティションを設定する」



作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

①［C：ドライブのサイズ］で ▲ ▼ をクリックしてパーティション（C ドライブ）のサイズを指定する
②［次へ］ボタンをクリックする

手順７のあとは「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

3 リカバリをしたあとは

① Windows セットアップのあとは

パーティションの設定を変更してリカバリをした場合のみ、次の「1 パーティションを設定する」の操作を行ってください。

1 パーティションを設定する

パーティションの設定を変更してリカバリをした場合は、リカバリ後すみやかに次の設定を行ってください。

1 コンピュータの管理者になっているユーザアカウントでログオンする

2 ［コントロールパネル］を開き、［ パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする

3 ［ 管理ツール］をクリックする

4 ［ コンピュータの管理］をダブルクリックする

5 左画面の［ディスクの管理］をクリックする

設定していないパーティションは［未割り当て］と表示されます。

6 ［ディスク 0］の［未割り当て］の領域を右クリックする

7 表示されるメニューから［新しいパーティション］をクリックする

［新しいパーティションウィザード］が起動します。

8 ［次へ］ボタンをクリックし、ウィザードに従って設定する

次の項目を設定します。
・パーティションの種類
・パーティションサイズ
・ドライブ文字またはパスの割り当て
・フォーマット
・ファイルシステム

9 設定内容を確認し、［完了］ボタンをクリックする

フォーマットが開始されます。
パーティションの状態が［正常］と表示されれば完了です。
詳細については「コンピュータの管理」のヘルプを参照してください。

【 ヘルプの起動 】
①メニューバーから［ヘルプ］→［トピックの検索］をクリックする

② アプリケーションを再インストールする

本製品にプレインストールされているアプリケーションは、一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバを指定して再インストールすることができます。
Office 製品の再インストールについては、「本節 ③ Office 製品を再インストールする」を参照してください。*[1]

＊1 Office 搭載モデルのみ

【 必要なもの 】
● 『セットアップガイド』（本書）

アプリケーションによっては、再インストール時に ID 番号などが必要です。あらかじめ確認してから、再インストールすることを推奨します。

同じアプリケーションがすでにインストールされているときは、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」や、各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行ってください。
アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

1 操作手順

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をクリックする

2 ［セットアップ画面へ］をクリックする

アプリケーションやドライバのセットアップメニュー画面が表示されます。アプリケーションやドライバのセットアップメニューは、カテゴリごとのタブに分かれています。
初めて起動したときは、［ドライバ］タブが表示されています。タブをクリックして再インストールしたいアプリケーションを探してください。
画面左側にはアプリケーションの一覧が表示されています。
画面右側にはアプリケーションの説明が書かれていますので、よくお読みください。

3 画面左側のアプリケーション名を選択し、画面右側の「XXX のセットアップ」をクリックする

「XXX」にはアプリケーション名が入ります。選択したメニューによっては別の言葉が表示されます。

4 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

［ファイルのダウンロード］画面が表示された場合は、［実行］ボタンをクリックしてください。

③ Office 製品を再インストールする

＊ Office 搭載モデルの場合
ここでは、Office Personal 2007 を再インストールする方法を説明します。

【 必要なもの 】
付属のパッケージに、必要なものが一式入っています。

- 「Microsoft® Office Personal 2007 2 年間ライセンス版」一式

再インストールした場合、ライセンス認証が必要になります。

再インストール方法とセットアップ方法

詳細は、パッケージに付属の『お使いになる前に』を確認してください。

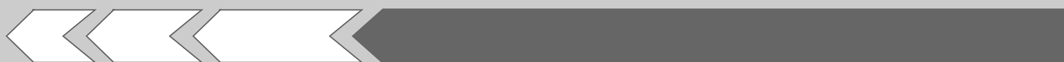
【Service Pack 1 について】
添付の CD から Office Personal 2007 を再インストールした場合、Service Pack 1 は組み込まれません。
次の手順を行って、インストールしてください。
①［スタート］→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をクリックする
②［セットアップ画面へ］をクリックする
③［Windows 関連］タブをクリックする
④画面左側の［2007 Microsoft Office system Service Pack 1］をクリックし、表示された画面に従ってセットアップする

④ バックアップしておいたデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、バックアップした記録メディアからデータを読み込んでください。

4章

廃棄／譲渡について



パソコン本体を捨てるときや人に譲るときの処置について、知っておいて欲しいことを説明しています。



1

捨てるとき／人に譲るとき

1 お客様登録の削除について

●ホームページから削除する

東芝 ID（TID）をお持ちの場合はこちらからお願いします。

① インターネットで「http://room1048.jp/」へ接続する
② ［ログイン］ボタンをクリックする
［セキュリティの警告］画面が表示された場合は、内容を確認し、［OK］ボタンをクリックしてください。
③ ［東芝 ID（TID）］と［パスワード］に入力し、［ログイン］ボタンをクリックする
お客様専用ページにログインします。
④ ページ右上の［登録情報変更］をクリックする
［登録情報変更メニュー］画面が表示されます。
⑤ ［退会］をクリックし、登録を削除する

※ 退会ではなく、商品の削除のみのお客様は「登録情報変更メニュー」で、商品削除を行ってください。
※ TID を退会されますと、「Shop1048」での TID 会員メニュー、およびポイントサービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

●電話で削除する

「東芝 ID 事務局（お客様情報変更）」までご連絡ください。

- 東芝 ID 事務局（お客様情報変更）
TEL　　：0570-09-1048
受付時間：10:00 ～ 17:00
（土・日、祝日、東芝特別休日を除く）

紹介しているホームページ、電話番号はお客様登録の内容変更、削除に関するお問い合わせ窓口です。
保守サービス、修理などの技術的な相談は、『東芝 PC サポートのご案内』を確認してください。

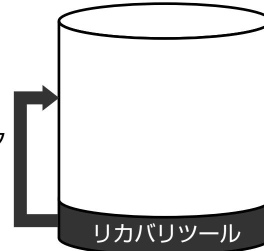
法人のお客様の場合は、ログインで表示される画面が異なります。登録情報の変更および退会は「登録情報変更」のメニューで、ご自身で行っていただくことができますが、商品の削除ができませんので、その場合は東芝 ID 事務局までお電話でご連絡くださいますようお願いいたします。

- 詳しくは、次のホームページを参照してください。
URL：https://room1048.jp/onetoone/info/business.htm

またリサイクルに関しては、『東芝 PC サポートのご案内』を参照してください。

2 ハードディスクの内容をすべて消去する

パソコン上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。



（ハードディスクのリカバリツールを使用する場合）

なお、ハードディスクに保存されている、これまでに作成したデータやプログラムなどはすべて消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

操作手順

ハードディスクの内容を削除するには、ハードディスクのリカバリツール、作成したリカバリディスクを使用します。
ハードディスクのリカバリツールを使用すると、ハードディスク内のデータはすべて消去されますが、リカバリツールは残ります。
作成したリカバリディスクを使用すると、ハードディスク内のデータと共にリカバリツールも消去されます。
ここでは、ハードディスクのリカバリツールから行う方法を例にして説明します。リカバリディスクから行う場合は、手順の前にパソコン本体に CD ／ DVD ドライブを接続し、ディスク（ディスク 1）をセットしてください。

1 パソコンの電源を切る（シャットダウン）

2 AC アダプタと電源コードを接続する

3 (0)（ゼロ）キーを押しながら電源スイッチを押し、［dynabook］画面が表示されたら手をはなす

メッセージ画面が表示されます。

【 リカバリディスクをセットしている場合 】

電源スイッチを押し、［dynabook］画面が表示されている間に(F12)キーを数回押します。
ユーザパスワードを設定している場合は、パスワード入力画面が表示されます。
ユーザパスワードを入力して(ENTER)キーを押してください。

その後、(↑)(↓)キーで［CD/DVD］を選択し、(ENTER)キーを押してください。

4 画面の内容を確認し、［はい］ボタンをクリックする

［復元方法の選択］画面が表示されます。

5 ［ハードディスク上の全データの消去］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする

消去方法を選択する画面が表示されます。

6 **目的に合わせて、［標準データの消去］または［機密データの消去］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする**

通常は［標準データの消去］を選択してください。
データを読み取れなくなります。
より確実にデータを消去するためには、［機密データの消去］を選択してください。数時間かかりますが、データは消去されます。
［ハードディスクの内容は、すべて消去されます。］画面が表示されます。

7 **［次へ］ボタンをクリックする**

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。
［次へ］ボタンをクリックすると、消去が実行されます。
消去が完了すると、終了画面が表示されます。

8 **［終了］ボタンをクリックする**

ディスクから行った場合は、自動的にディスクが出てきます。ディスクを取り出してください。

< MEMO >

< MEMO >

リカバリ(再セットアップ)チェックシート

リカバリは、本ページをコピーするなどして、次の項目を順番にチェックしながら実行してください。
本ページに記載されている各チェック項目の詳細は、「3 章 買ったときの状態に戻すには」で説明しています。

① リカバリをする前に確認すること

□ ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する
□ セーフ モードで起動できるかどうか実行してみる
□ 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認してみる
□ ほかのトラブル解消方法を探してみる

参照 『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

② リカバリをはじめる前にしておくこと

□ **①準備するもの**
□『セットアップガイド』(本書)　□『取扱説明書』
□ このリカバリチェックシートをコピーしたもの
□ リカバリディスク(作成したリカバリディスクからリカバリする場合)
□ 外付け CD ／ DVD ドライブ(作成したリカバリディスクからリカバリする場合)

□ **②必要なデータのバックアップをとる**
バックアップをとることができる場合は、とっておいてください。リカバリをすると、購入後に作成したデータはすべて消失します。

□ マイドキュメントのデータ
□ 購入後にデスクトップに保存したデータ
□ インターネットエクスプローラのお気に入り
□ メール送受信データ
□ メールアドレス帳
□ プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
□ 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
□ 購入後に作成したフォルダやファイル

□ **③アプリケーションのセットアップ用のメディアを確認する**
「Microsoft Office」*[1] や、購入後にインストールしたアプリケーションなどは、リカバリ後にインストールする必要があります。リカバリした直後は、お客様がインストールしたソフトなどは復元されません。ご購入されたメディアなどから再度インストールしてください。

□ **④各種設定を確認する**

□ **⑤あらかじめ、音量を調節する**

□ **⑥周辺機器をすべて取りはずす**

③ リカバリ(再セットアップ)の流れ

リカバリをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

□ リカバリ(再セットアップ)
□ アプリケーションやドライバのインストール
□ ウイルスチェックソフトのインストール
□ Office 製品(Word、Excel など)のインストール*[1]
□ 周辺機器(プリンタなど)を取り付けて、設定する
□ インターネットの設定
□ ウイルスチェックソフトの更新
□ Windows Update
□ データの復元やメールの設定

＊1　Office 搭載モデルのみ